

自然と歴史の素晴らしい地域と学校の連携をめざして

勝山市立平泉寺小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	2回
中学校区を単位とした協議会	0回
地域及び家庭への学校公開	12日

(2) 地域人材の活用 (のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	30人
授業ボランティア	人
登下校支援ボランティア	5人
その他 ()	人

(3) 特色ある活動

テーマ「心の教育の充実」
・地域と連携したそばづくり

具体的活動内容

1 はじめに

本校は、50年以上続いている「フキとり」や20年以上続いている「器械運動発表会」など地域の方々と触れ合う機会を数多く取り入れている。2・3年生は、「さつまいも作り」で障害者施設（九頭竜ワークショップ）の入所生と触れ合ってきた。また、本校は、そばづくりや祖父母参観日等を通して、地域の高齢者との交流を積極的に進めている。

2 実践

○8月22日(月) そばまき体験

夏休みの全校登校日の日にそばを播いた。はじめに、平泉寺町高齢者連合の方々に、自分のおじいちゃんの名前を言って自己紹介をした。交流し合う中で、「○○さんの孫やな。」と聞かれるなど親密な関係づくりができた。



次に、そばの播き方や注意を聞いてから、一人が一畝ずつ担当してそばを播いた。高齢者連合の方々と違い、なかなか均等に播くことができなかつたが、担当の畝にそばの種を播くことができた。

○2学期に中 そばの花の観察・写生

夏休み後半から秋の収穫時期にかけて、子どもたちはそばが大きくなっていく様子をを観察したり、そばの花を絵に描いたりして、その生長を見守ってきた。

○11月22日(火) そば刈り体験

11月に、平泉寺高齢者連合の方々5人と一緒にそば刈りをした。そばを刈るときケガをしないように注意を聞いて、自分が植えた畝のそばを刈った。そばは、雨風で倒



れていてなかなか刈りにくかったようだが、倒れた反対側から刈ると刈りやすいとか、茎をそろえた方が後で並べやすいとか教えてもらいながら刈った。

刈ったそばはそれほど多くなかったが、2・3年生6人が刈る量としてはちょうど良い量だった。

○9月 とうみ体験

刈ったそばを何日か干してから、とうみを使って選別した。とうみとは、手回しで起こした風の力を使って、そばとゴミを分ける物で、子ども達は楽しそうに、そばをとうみに入れたり、ハンドルを回したりしていた。



○2月2日（木） そば打ち体験

2月に、家庭科室でそば打ち体験をした。2・3年の中には、そば打ちを体験している子もいるが、ほとんどの子は初めての体験だった。

そば粉に水を入れて混ぜ合わせたり、力を入れて練ったりした。次に、のばし棒でそばをのばし、そば包丁でそばを切った。どの作業も時間はかかったが、高齢者連合の方が見守り指導して下さった。おかげでしっかりしたそばができあがった。

最後に、子どもたちと高齢者連合の方々と一緒にそばを食べた。そばを食べながら、学校のことや家族のことなどいっぱい語り合った。



成果と課題

この一年、地域のお年寄り（特に、高齢者連合の方々）や障害者との交流を重ねた。その中で、平泉寺町を大切にしているお年寄りの思いや自然に対するこだわりを語っていただいた。また、活動する中で相手をいたわる心を教えていただき有り難かった。この活動は来年度も続けていきたい。

そばづくり活動は、天候により活動が限定されているので、学校としても高齢者連合会との連携をより密にしながら、柔軟性のある計画で臨んでいきたい。